

# 特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた（愛知県岡崎市）

QURUWA地区の公共空間活用等を通じて、まちの関係人口を創出し、愛着を持って主体的にまちに関わる担い手を輩出 様式1-1

## Basic information

法人設立年月日	2006年9月7日
指定年月日	2019年5月22日
資本金等	なし
株主・構成団体等 (出資割合)	理事10名、監事2名 正会員14団体・25名
職員数	70名（うち正職員10名）

### ■ 法人の紹介

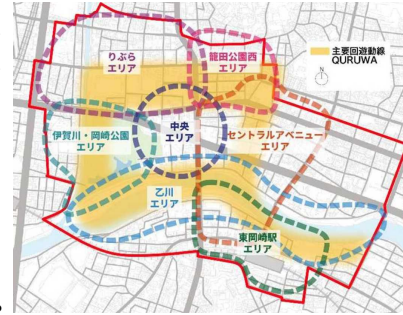
市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的とした公設民営の中間支援組織。

### ■ 官民連携による事業推進体制

景観、福祉、防災、空き家活用、市民活動支援等様々な領域における行政・民間団体・専門家との協働実績とネットワークを活用し、プロジェクトのテーマやフェーズに適した協働・連携体制の構築に努めています。

### ■ 活動エリア（約157ha）

名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、商店街、岡崎城のある岡崎公園などを含む中心市街地約157haを主な活動エリアとしています。



## Project

### 1 公民連携まちづくり推進事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

#### ■ 公民連携で計画・活動・担い手づくりを推進

当初行政主導のハード整備という側面が強かった「乙川リバーフロント地区整備計画」を、担当課および専門家、まちづくり団体等と連携・調整を行い、公民連携まちづくりのビジョン・体制づくりなどを推進。



### 2 おとがワ! ンダーランド

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

#### ■ 水辺を使いこなすことで川の価値を再発見

QURUWA戦略の一環で実施した「かわまちづくり支援制度」を用いた水辺活用の社会実験事業。5年間の取組を経て、規制やルールの整理と共に様々な活用法を模索し、現在では乙川ならではの水辺活用が定着してきています。



## Hot topic

### ■ 地域の歴史を継承し、新しい価値を創造する「次世代の会」誕生!

「7町・広域連合会」から派生して、地域内外の30-40代を中心に、地域課題の解決やエリアの価値の向上に取り組む「次世代の会」が設立されました。不動産活用、高齢者の生活支援、脱炭素、関係人口創出等をテーマに、持続可能な地域経営に向けて精力的に活動しています。



### 3 殿橋テラス

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

#### ■ 橋の欄干を使った仮設リバーサイドテラス

かわまちづくりの拠点施設として、河川区域に足場を組み仮設の躯体を設置。岡崎城と乙川を望む豊かな水辺空間を演出する仮設店舗の社会実験を企画運営。(協力: Parlor Newport Beach、ハートビートプラン)



### 4 地域主体のエリアマネジメント支援

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

#### ■ QURUWAエリアの自治会連合の支援

QURUWA戦略の拠点施設の一つ・籠田公園再整備に向けた活用検討プロセスを経て、周辺町内会の連合体「7町・広域連合会」が組成されました。本法人は地域課題の調査、対話の場づくりや体制構築の支援を行いました。



## Tool

活用している各種まちづくり制度

制度の種類	活用	締結・活用時期
①都市再生整備計画の提案		特になし
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結		
⑤都市再生(整備)歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		



<http://www.okazaki-lita.com>  
<https://quruwa.jp>